

# 事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされておりますので、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

## 平成29年度 東京都福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

2018年3月31日

社会福祉法人森友会  
こもれびの森保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1  
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号 機構 03 - 081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 清水 康之



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H1002063	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	②	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H1101008	<input type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	④	H0803017	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑤	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	⑥	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	こもれびの森保育園			
事業所連絡先	〒	185-0014		
	所在地	東京都国分寺市東恋ヶ窪5-8-3		
	TEL	042-312-4788		
事業所代表者氏名	門脇 清美			
契約日	2017年	11月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2017年	11月	20日	
利用者調査結果報告日	2018年	2月	14日	
自己評価の調査票配布日	2017年	11月	13日	
自己評価結果報告日	2018年	2月	14日	
訪問調査日	2018年	2月	16日	
評価合議日	2018年	2月	16日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査実施にあたっては、開始時に調査の趣旨などを記した依頼状の配付やポスター掲示などで理解促進を図るとともに、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付するほか、必要に応じ提出期限を延長するなどして回収率向上に努めた。 事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の調和的発達を促す。</li> <li>・食事・排泄・睡眠・着脱衣・清潔・挨拶などの基本的な生活習慣の芽生えをやしないつつ適切な生活習慣の基礎を培う。</li> <li>・異年齢集団によるクラス編成を基本にしなが、多様な集団への参加によって、自主協調の芽生えを養う。</li> <li>・正しい言葉生活や自然、社会現象に対する興味と関心を育てる。</li> <li>・こどもらしい表現によって生きる力の基礎を培う。</li> </ul>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>子どもに求めることと同様職員も保育園に来れば「やりたいことがあって、やりたいことができる」という気持ちをもっているいるなことにチャレンジをし、お互いの存在を認め合うことが出来るようになってほしい。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>全ての立ち振る舞いや言動が子どもの周りの職員の手本であることを意識する。「子どもの命を預かる」ことを常に実感し、専門知識を学び現状に満足せず質の高さを追求しなければならない。人の育ちあう場として、子どもや保護者、職員が共に成長できることを期待する。</p>

[ver.2]

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯60(在籍児童数72)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数

72

利用者家族総数(世帯)

60

共通評価項目による調査対象者数

60

共通評価項目による調査の有効回答者数

41

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

68.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」36.6%・「満足」43.9%の計80.5%で、設問別では「発達に配慮した保育活動」「急な残業等への配慮」「プライバシー保護」など全17問中7問で80～90%台の高い支持を得ている。

自由意見では「たくさんの緑や小物がセンスよく配置され、季節感にもこだわりがあってきれいな部屋や環境で生活でき、遅くなった時に夕食を用意してくれる点も助かり、子どもも自由にのびのびと過ごしている」「子どもの気持ちをとてもくんでくれている点がよく、延長保育や補食への対応もあり、施設もきれいで子どもが喜んで登園している」「子どもの個性を大切に、一人ひとりに向き合って保育をしてくれており、絵本・ダンス・制作・おもちゃなどいろいろなことを経験できる環境が整っている」「保護者主体の行事やイベントがないので負担が少なく、学年ごとに教室が分かれていないので異年齢の園児との交流があり、季節ごとにきちんと園の展示や装飾を変えてくれ、クオリティも高い」などの声が寄せられている。

さらなる向上を望む意見としては、安全管理・保健衛生、保育や設備、子どもの様子の報告・説明、保護者の就労・負担への配慮に関するなどが見られた。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	37	2	1	1
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が92.5%、「どちらともいえない」が5.0%、「いいえ」が2.5%となっている。 自由意見は2件で、「お友達との交流で成長していると感じる」のほか、年齢に即した活動内容について、さらなる配慮を望む意見があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	35	5	0	1
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっている。 自由意見は3件で、「歌や踊りを楽しそうに覚えている」のほか、さらなる活動内容の充実を望む声が見られた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	36	4	0	1
「はい」が90.0%、「どちらともいえない」が10.0%となっている。 自由意見は2件で、「試食をしたがとてもおいしく栄養バランスもよく、子どもも毎日楽しみにしている」のほか、食べている量を知りたいとの声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	9	5	1
「はい」が65.0%、「どちらともいえない」が22.5%、「いいえ」が12.5%となっている。 自由意見は8件で、「行事はたくさん機会があって経験を積んでおり、園庭もあり楽しく過ごさせてもらっている」のほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声が寄せられている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	1	1	7
「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が2.9%、「いいえ」が2.9%となっている。 自由意見は土曜保育の利用について、さらなる融通性を望む内容が1件寄せられている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	24	10	5	2
「はい」が61.5%、「どちらともいえない」が25.6%、「いいえ」が12.8%となっている。 自由意見は4件で、保育中の安全管理、設備面、衛生面について、気になる点や要望が挙げられている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	30	7	1	3
「はい」が78.9%、「どちらともいえない」が18.4%、「いいえ」が2.6%となっている。 自由意見は4件で、行事の日程等における各家庭の負担や就労等への配慮について、さらなる検討を望む声が寄せられている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	24	12	3	2
「はい」が61.5%、「どちらともいえない」が30.8%、「いいえ」が7.7%となっている。 自由意見は6件で、日頃の子どもの様子などの伝達・報告、コミュニケーション機会の確保などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	27	9	4	1
「はい」が67.5%、「どちらともいえない」が22.5%、「いいえ」が10.0%となっている。 自由意見は7件で、「インテリアの緑が多く、送り迎えでも気持ち豊かになる」などのほか、各室内の清掃・整理整頓や衛生管理などについて、さらなる向上を望む声が見られる。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	27	10	4	0
「はい」が65.9%、「どちらともいえない」が24.4%、「いいえ」が9.8%となっている。 自由意見は9件で、「よい先生も多い」「服装は皆さん適切である」のほか、職員の子どもや保護者への接遇・身だしなみ等について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	35	4	2	0
「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が9.8%、「いいえ」が4.9%となっている。 自由意見は4件で、「子どもの様子がいつもと違ったり、ケガをした時すぐに連絡をくれるので、とても助かる」などのほか、ケガや体調急変等の把握・対応や保護者への報告について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	27	7	2	5
「はい」が75.0%、「どちらともいえない」が19.4%、「いいえ」が5.6%となっている。 自由意見は5件で、「園長や一部の先生はとてもよいと思う」のほか、子ども一人ひとりへの配慮や目配り、子ども間のいさかい等の際の保護者への情報提供について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	34	6	1	0
「はい」が82.9%、「どちらともいえない」が14.6%、「いいえ」が2.4%となっている。 自由意見は4件で、子どもの気持ちを大切にしたい対応について、さらなる配慮を望む声があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	34	1	0	6
「はい」が97.1%、「どちらともいえない」が2.9%となっている。 自由意見は1件で、子ども同士のトラブルの際の情報提供について、さらなる検討を望む声があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	10	1	0
「はい」が73.2%、「どちらともいえない」が24.4%、「いいえ」が2.4%となっている。 自由意見は3件で、子どもの様子や保育内容等に関する保護者への報告・伝達などについて、さらなる配慮を望む声があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	6	1	8
「はい」が78.8%、「どちらともいえない」が18.2%、「いいえ」が3.0%となっている。 自由意見は2件で、不満・要望等に対する傾聴姿勢や対応について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	11	7	4	19
「はい」が50.0%、「どちらともいえない」が31.8%、「いいえ」が18.2%となっている。 自由意見は2件で、外部の意見窓口の周知などについて、さらなる配慮を望む声が見られた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ1の講評		
<p>系列園共通の理念などを、さまざまな媒体と機会を通して保護者や職員に周知している</p> <p>法人共通の保育理念と保育目標が定められ、目指す保育事業推進の基本原則としている。パンフレット・ホームページ・「入園のしおり」などにこれらを明記するとともに、保護者には入園説明会や保護者会・個別面談等での言及や、園便り等に掲載して周知を図っている。職員には毎月の職員会議と園内研修で理解と掘り下げを図り、新入職員には入職前に職場実地研修や新入職員研修の機会を設けて理解と浸透につなげている。また会議等の際、明確な指針がない時は理念に立ち返って協議・判断し、結論を導き出している。</p> <p>組織の活性化と、園が目指す保育の実践に向けて、園運営をリードしている</p> <p>経営層の役割・責任・権限は法人と園の管理規程で明確にされ、園マニュアル中にも層別・職種別の職務を定め、職務分担表として明示し、事務室で常時閲覧可能としている。園長はこの職務分担に基づき、法人理事会や系列園長会での決定事項の執行、園経営に係る事項の統括管理を行うとともに、行政・地域等への園を代表する対外窓口も担い、日常業務を通して目指す保育の実践に向けた現場への指導力を発揮している。保護者に対しては育児・家庭への支援もできるような日々の会話や行事の際の歓談など気軽な話ができる雰囲気づくりに配慮している。</p> <p>重要案件は内容に応じて法人・系列園長会・園内で決定され、関係者に伝えられている</p> <p>法人内の重要案件は、毎月の関東地区内の合同園長会や九州各園を含めた園長会において検討・決定がなされており、案件に応じて理事会にて最終決定が行われ、決定事項は職員会議や朝礼で職員に周知を図っている。園内の案件事項は職員会議や朝礼・フロア会議等で検討・決定がなされている。また全職員に出勤時に確認を課した「コミュニケーションノート」を設け、周知漏れを防いでいる。保護者には入園時の個別面談、園便りやクラス便り、文書掲示や随時のプリント配付で伝えるほか、登降園連絡ツールによる情報伝達も行い、周知の徹底を期している。</p>		

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
<b>評価項目1</b> 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 地域との関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ-2の講評</b>		
さまざまな機会を通じて、保育所職員として守るべき法・規範・倫理の啓発を行っている 保育者として守るべき法・規範・倫理等については、就業規則及び「よき保育者になるために」に明示しており、職員には入職時研修や、毎月実施する職員会議、法人内研修の中で関連づけて周知を図り、理解を深めるための取組を行うなど、意識の持続と喚起を図っている。法人・園のホームページを通じて、保育理念や保育目標、取組姿勢や保育内容、保護者へのお知らせ、財務諸表などを詳細に公開するほか、行政による定期的な巡回指導や利用者調査の実施、平成29年度には第三者評価を受審するなど、園の透明性の確保に継続して取り組んでいる。		
地域の方々の園見学を積極的に受け入れ、育児相談も随時受け付けている 地域に対し、地域に開かれた園であることの認知度を高めるため、園見学を積極的に受け入れ、育児相談も随時受けている。また実習生やボランティアを受け入れ、保育に係る事項の啓発に努めている。開園3年目となり、組織体制の構築と職員同士の連携ができてきた中で目指す保育の実践に注力している状況のもと、地域に向けた園の機能の還元や専門性を活かした取組を段階的に深めることとし、内容については地域との関係機関との連携や市内法人傘下園との情報交換から把握したニーズ、地域の方々から得た意見・要望等に基づき進めたいと考えている。		
ボランティア等の受け入れの仕組みを整え、地域との連携・協力にも取り組んでいる ボランティア等の来園に備え、系列園共通のマニュアル・ガイドライン及び守秘義務等を含む誓約書の様式が整備されている。学生のボランティアについては、将来の保育を担う人材育成の一環として積極的に受け入れている。地域との関係機関との連携については、園長が参加する市の公私立保育園長会や看護師が連絡会に参加し、地域の課題検討や各所との連携等について話し合いを行っている。また市は、学区ごとの小学校に年長児が招かれて学校体験をする機会を設けており、この活動を通じて近隣の保育園間の交流が深まり、年長児が集う計画が進んでいる。		



カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況 <b>8/8</b>
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>保護者の個別の苦情・要望をさまざまな方法で収集し、対応・解決にあたっている</p> <p>解決責任者(園長)・受付担当者(主任)、第三者委員を設けた苦情解決体制があり、「入園のしおり」やホームページにフローチャートで明示し、保護者には入園時の個別面談でしおりに基づいて説明を行っている。年度ごとに、発生事例を「苦情・怪我・事故報告」としてまとめ、第三者委員会に上げ、またその内容を園のホームページに掲載して、取組体制の透明性を表明している。さらにオープンな姿勢と気軽に相談できる雰囲気づくりに努め、日常のコミュニケーションや連絡帳、保護者会などからも意見・要望を聴き取れるようにしている。</p> <p>保護者全体の意向を把握する機会を年間を通じて設定し、改善に取り組んでいる</p> <p>保護者の意向については、日々の送迎時の申し出・連絡ノート・保護者会・個別面談・親子行事終了後のアンケート・利用者調査等で寄せられた要望等で把握し、整理・集約している。集約した要望等は、職員会議や該当する会議等において全職員が共有・検討し、その結果をもとに日々の対応や保育、次年度における同様の行事企画に活かすなど、園運営への反映に努めている。保護者には、寄せられた要望等への回答をわかりやすくQ&amp;A形式にまとめた文書の配付や園内掲示等で回答し、理解を求めている。また個々の保護者の要望等には随時対応している。</p> <p>地域ニーズや行政・制度の動向などの情報を、さまざまな機会に把握して活用している</p> <p>地域・事業環境に関する情報は、園長が参加する法人内の合同園長会、市の公私立保育園長会や看護師が参加する連絡会等から得るほか、市内にある法人傘下4園間の情報交換からも得ている。制度・業界の動向は園長会等での行政説明で随時把握するほか、法人からの通達や各種報道・保育専門誌などを通じて情報収集を行っている。身近な園周辺の地域の声は、園見学の参加者からの聞き取りや土地所有者から得ている。国の政策に基づく保育制度の動きや処遇改善など、必要な情報は職員会議や「コミュニケーションノート」などで職員に周知を図っている。</p>		

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	

サブカテゴリ-2(4-2)		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
法人の中・長期事業計画をもとに、園の事業計画を策定して年間を通じて取り組んでいる 法人として社会福祉法人の制度改革への対応、業務全般の質の向上や職員処遇の改善、施設の開設・修繕のための資金確保、園の保育の理念・方針などへの保護者・地域・社会からの理解獲得など、現状の課題を踏まえた主な取組と目標水準・達成時期を定めた31年度までの事業計画を策定し、毎年見直している。園では、この法人の事業計画に基づき自園の取組現状を考慮して単年度計画に落とし込み、保育環境づくりの充実、職員の研修会等への積極参加、保育の質の向上、保護者ニーズの把握等の重点事業目標6項目を挙げ、期限を定めて取り組んでいる。 計画から振り返りまでの仕組みを整え、担当を中心として進捗管理にあたっている 法人の中・長期事業計画の実行計画化に際しては、系列の関東地区園長会や主任会で検討・共有し、各園の単年度事業計画に反映する仕組みがある。園においては重点事業計画項目を、その内容に応じて園長・副園長・主任・担当が作成し、会議等を利用して職員から意見を収集し、調整を行っている。業務の分担は別途定める職務分掌や業務分担に基づいており、計画各項目の進捗状況の確認は職員会議や該当する会議等で行っている。法人が推進する「誉める保育」に係る研修会を系列園持ち回りで毎月開催しており、先進・失敗の各事例を学ぶ場にもなっている。 マニュアルの活用や事例の共有・各種の訓練など、安全確保に向けて取り組んでいる 利用者の安全の確保に向け、安全管理のマニュアルを整備するほか、定期的な防災・防犯の訓練の実施とともに、感染症・SIDS予防の対策やプール時の安全配慮等の指導も行っている。また受診治療を要したケガ等は所定の報告書に記し、要因分析や再発防止策の検討を行うほか、職員会議や「コミュニケーションノート」にて職員間で共有化を図っている。さらに系列園内のケガ等の事例も共有し、自園の安全配慮や予防意識の向上につなげている。市内の感染症週報や不審者情報等を把握した際には園内で書面を掲示し、保護者への注意喚起を行っている。		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(○○●●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	

サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
<b>評価項目1</b> 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目2</b> 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格・賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当
<b>カテゴリ-5の講評</b>		
<p>事業計画に沿った人材確保を目指し、東京エリアの系列園が合同で人材募集を行っている</p> <p>職員の採用においては、幅広く人材を求め、法人の理念や系列全国で実践する「誉める保育」への共感、各園で展開するチーム制の保育実践に順応できる協調性やコミュニケーション力などを重視し、これを踏まえて法人が人材採用を行っている。採用予定者には職場実地研修(1~3月)、新規採用職員研修(2月)を行い、保育や経営方針への同意を確認したうえで決定し、各園に配属されることになっている。園内の担任等の配置に関しては職員面談で希望を把握し、経験・意欲などを踏まえ、主任と協議したうえで最終的に園長が決定している。</p> <p>法人内での階層別・分野別の研修や外部研修などで職員の資質向上を図っている</p> <p>系列園園長による「保育の質を向上する委員会」を中心に研修内容を検討のうえ、階層及び保育等の専門分野別での研修を設定しており、保育・発達支援などの研鑽を図っている。職員の参加促進対策として、系列全国の職員が参加できるように園ではシフトを柔軟に調整するほか、土曜の午前と午後同一内容の研修を開く工夫をしている。また面談で把握した各職員の現状の課題や望まれる成長、本人の希望も踏まえつつ、内外での研鑽を図り、会議での発表や、報告書の提出と他園見学時の写真の回覧などによって成果の共有を図っている。</p> <p>職員の生活と将来を見据え、法人が福利厚生 of 充実に継続して取り組んでいる</p> <p>各職位の業務範囲は職務分掌表に示され、指示系統もこれに基づいており、裁量を超えた事案については園長・主任の判断を仰ぐことになっている。職員の気づきや工夫は職員会議やフロアごとの協議等を提案の場とし、人材マネジメントは個々の職員の日々の仕事の成果や保育観察などで把握し、職員の自己評価や個別面談の結果を勘案して行い、意欲や帰属意識の向上を図っている。福利厚生面では、乳がん・子宮がん検診費用の全額負担、企業型確定給付年金制度、育児短時間勤務・子ども手当、リフレッシュ休暇など、職員の将来を見据えた取組となっている。</p>		

7		カテゴリー7	
情報の保護・共有			
サブカテゴリー1(7-1)			
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○非該当
カテゴリー7の講評			
漏洩等の防止を図るための仕組みを設け、各種情報の効率的な利用が行われている 「プライバシー保護マニュアル」を定め、重要書類及びPCデータに関する取扱いや管理の徹底などを促すほか、別途定めた「個人ナンバー管理規定」も踏まえ、法令に沿った保管場所・使用の際の記録を厳守している。法人内でもクラウドを活用した情報共有とフォルダ単位でのアクセス権限設定により、職位等に応じた適正な情報利用につなげている。保護者との連絡や毎日の登降園管理等に活用するシステムを導入しており、日常の連絡や事務処理等における保護者・園双方の負担軽減と効率化に活かしている。			
個人情報の利用目的に関する説明を行って同意を受け、開示請求への対応も示している 保護者に対し、「入園のしおり」において個人情報・プライバシーの保護に係る園の取り扱いの指針を示し、個人情報の利用目的として保育提供から各種事務管理までの用途を記載した書面とともに、入園時に説明し、利用目的の書面については記名押印を受け、同意確認としている。また「個人情報管理規程」を定め、この中で法令に定める自己情報の開示請求への対応も定められており、園のホームページにもこれを掲載している。昨今の社会情勢等に鑑み、保護者が私的に撮影した肖像等の取り扱いに関する注意喚起を行っている。			
職員・ボランティア等に対し、個人情報保護の徹底を促すための各種啓発がなされている 職員には入職時の「よき保育者になるために」「職員の心得マニュアル」に基づく教育を通じ、データ・書類の禁帯出やSNS上での機密漏洩禁止など、個人情報保護の徹底を促すとともに、非常勤を含め全職員から誓約書を取得している。またボランティア・実習生・職業体験などの受け入れに際しても、守秘義務等の説明を行ったうえで、その徹底を促している。			

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
「誉める保育」の浸透に向けた取組や、基幹型保育園との連携強化に取り組んでいる 園が取り組む「誉める保育」の質のさらなる向上を目的に、職員を積極的に関連する研修に参加させ、個々の振り返りや気づきを大切にしながらフロア会議や職員会議で共通理解を図るなどの改善に取り組んだ。その結果、行事への取組は子ども一人ひとりの成長やその時々興味などを踏まえたものとなりつつある。日々の関わりにおいても保育者都合でなく、あくまでも子ども中心となるよう、当園の保育の基本としてさらに継続する意向である。 また市が子どもの育ちを支援する保育行政の要として位置づける「基幹型保育園」との連携をもとに、近隣の小学校で開催される就学前交流会に年長児が参加した。他園の子どもたちや小学校児童との交流体験が、就学を控えた年長児の心の成長に結びついたとらえている。	
サブカテゴリ-2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-5で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
法人が実施する職位別研修や会議に参加し、遂行業務の深耕や効率化に結びつけている 法人が実施する、情報交換や業務の効率化を目的とする職位別研修や会議に園長・主任・リーダー等が参加した。その結果、職務に共通する情報や各園の取組状況・事例などの共有が図られ自園内での遂行業務の深耕や効率化につながっている。また自己啓発や相互研鑽の場としても有効であったとらえている。	
サブカテゴリ-3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-6で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
プライバシー保護や保育の環境・援助両面で、改善や充実・新規活動がなされている 情報管理面では、他園で発生した、職員が携帯で園児を撮影してブログに掲載した事例を受け、自園での発生防止を徹底するために注意を喚起したり、当園が入職時の研修で園児の肖像権の扱いに関する事項を周知徹底していることなどに触れ、防止策を講じるなどしている。 各階の保育の統括役として乳児・幼児の各フロアリーダーを設置するとともに、彼らの提案を活かし、1階の0・1歳児室にもピアノを設置したり、子どもたちが身体を動かせるスペースも設けて、2階の2歳以上児室と同様の環境となるようにした。低年齢児も音楽やリズムなどに親しめるようにするとともに、2歳児以降との連続性を持たせ、進級後の環境変化への子どもたちのストレスが軽減されるようにしている。 また職員の「誉める保育」の実践の活性化を目的に、子どもたちの何かができた・頑張った等の場面で職員がハイタッチとハグをする取組を開始している。以前から習慣づけていた拍手などが思うように定着しないことを課題として、原因を職員で話し合ったうえで解決に向けた行動目標として定めたもので、実践に取り組み始めている。 さらに子どもの心身の発達や現場の要請を踏まえ、各階の室内環境の構成を随時見直している。	

サブカテゴリー4(8-4)	
事業所の財政等において向上している	
評価項目1	
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
園・法人との連携のもとで、収支バランスの最適化に努めている 年間及び月次の予算策定・執行は法人本部との連携のもとで行っており、子どもの安全を第一に考え、予算書の作成時には計画性をもった経費計上を意識するとともに、定員の基準の範囲内の弾力的な運用、延長・一時保育の積極的な受け入れで収入の増加も図り、年度末の積立も計画的に実行している。また複数園運営の法人のスケールメリットを活かした各種調達の際の価格交渉など、経済性と質の維持の両立に配慮がなされている。	
サブカテゴリー5(8-5)	
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
保護者の意見をさまざまに把握し、運営・保育面での改善に役立てている 保護者の意向を把握し、加えて当園が取り組む「誉める保育」の理解度を高めるために、日々の送迎時の申し出・連絡帳・保護者会・親子行事終了後のアンケート・利用者調査等で寄せられた要望等を整理・集約し、丁寧に対応するとともにサービスの改善に努めている。さらなる取組として、エントランスに装飾小物を配置して和みの環境を整え、保育の様子を映した写真を掲示するなどして、保護者に子どもの園生活の一端が見えるようにした。また利用予定者の見学に際しては、保育内容を十分に伝え、意向を把握して適切な対応ができる体制が必要と判断し、午前中の時間帯に随時受け入れ、見学者1組に1名の説明者で対応することとしている。園としては子どもの活動や食事の様子、日々の保育を基本とした行事への取組等に対する質疑に丁寧な応答ができたこととらえている。さらに市が開催する市内各園を紹介する催しに参加して、地域の方々や利用予定者の保育ニーズの把握に努めた。今後の園運営の参考にしたいと考えている。	



II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ-1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-1の講評			
<p>ホームページでの発信やパンフレットの配布など、入園希望者に園の情報を提供している</p> <p>ホームページには園舎内の確執や園庭の写真などを交え、園の雰囲気が伝わるようにし、園の概要や大切にしていること、日々の生活と学び、行事や食事など、園の全体像が入園希望者に伝わるようにしている。またパンフレットに保育の理念や目標・方針の説明、保育の基本とする「誉める保育」、一日の流れや保育目標について記載し、来訪者に手渡すほか、市役所主催で10月に開催される次年度の入園希望者向け説明会に参加し、園ブースに来場した人にも配布するなど、市内の入園希望者への情報提供に取り組んでいる。</p> <p>市の各種媒体やホームページを通じた広報など、地域への情報発信に取り組んでいる</p> <p>国分寺市の保育所利用者向けの各種媒体で当園の基本的な情報が提供されている。また市内には法人系列の3園が開園しており、保育理念や方針など共通する内容は、ホームページなどでわかるようにしている。「誉める保育」や食事・食育などについては、各室の環境の写真や交えた説明や、その月のメニュー、栄養素がわかる献立などを掲載しており、関連する内容も含め情報提供をしている。今後は玄関前の地域向けの掲示板の活用を含め、園や法人の保育理念や実践を、地域に対してさらに発信し、周知を図るための広報にも取り組みたいと考えている。</p> <p>見学は希望者の状況に応じ、柔軟な受け入れ対応に努めている</p> <p>利用希望の問い合わせには、園が一番大事にしている保育の取り組みを理解してもらえよう、午前の保育活動と食事の場面を見学するように勧めている。それ以外の時間に見学になる場合は、活動のアルバムなどを用意して丁寧に説明を行なうようにしている。問い合わせの時点で、見学時間はどのくらいかかるか伝えるとともに、知りたい項目が多岐にわたる場合や詳しく知りたいとの要望があれば、柔軟に時間を延長できることも知らせている。また最寄り駅を挟んで近接している法人内の系列園も紹介し、見学を勧めて参考にしてもらうようにしている。</p>			

サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/6	
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <span style="float: right;">評点(〇〇●)</span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
サブカテゴリ-2の講評	
<p>入園予定者には資料などをもとに各種の重要事項内容を説明し、同意を得ている</p> <p>利用開始前に面談の機会を用意し、「入園のしおり」やホームページに記載されている内容を説明しながら、園の保育や運営の基本である「誉める保育」や異年齢保育の活動などについて、口頭説明に加え内容について具体的にアルバムなどでも示し、保育への理解を得るようにしたり、体調把握や健康管理などの対応も伝えている。また個人情報や写真の利用、保険加入などその他の事項も説明し、同意を得るようにしている。今後は説明内容と入園に関する同意を書面で得る仕組みの導入も検討しており、より確実な保護者との相互理解に向け、取組が期待される。</p> <p>保育開始にあたって必要な子どもの各種情報を、入園前に個別に確認している</p> <p>入園前に、子どもの家庭での生活状況や食事の状況、既往歴やかかりつけ医など保健面の状況をはじめ、保育開始に必要な各種情報について、保護者が記入・提出する各種書面と個別の面談によって確認している。また医療や調理などケアが必要な場合は、看護師や栄養士も同席して要望などを把握している。1階が0・1歳児、2階が2歳以上児のフロアとなっており、またクラス担任制でなくフロア担当制としていることから、職員間で確実に情報を引き継ぎ、共有できるようにしており、面談は記録し、提出書類とともに職員全体で共有している。</p> <p>入園後の子どもの負担に配慮した取組を行い、利用終了後の支援も検討する意向である</p> <p>通園開始当初には、環境変化に伴う子どもの心身の負担に配慮し、保育時間を短時間から徐々に通常まで延ばすなど、子どもが無理なく長時間の園での生活に順応できるようにしている。退園・卒園時には、保護者に直近の様子や状態について伝え、いつでも立ち寄り、相談等に訪れてほしい旨を伝えている。開園まもないこともあり、利用終了後の支援や関係の継続に向けた仕組みの確立は、今後の課題と考えられる。卒園アルバムの配付時期を卒園以降にずらしたり、就学後の保護者との待ち合わせに園を利用してもらうことなど、アイデアも温められている。</p>	

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリ-3の講評</b>		
<p>一人ひとりの情報を把握して、きめの細かな支援に努めている</p> <p>入園時の個人面談にて心身状況や生活状況を聴取し、児童票や「個人調査票」「保健調査票」などに明記している。保護者の意向や日々の子どもの様子は連絡帳や送迎の際の保護者との会話で情報を得て、「受け入れボード」に記入するとともに、朝礼等でも共有を図っている。各世帯年1回のほか必要に応じて行う個人面談では、事前に質問を求めたアンケートを聴取し、それをもとに園での子どもの様子や保育などについて保護者に伝え合うことで、保護者と情報や思いを共有して子どもの成長を支援できるようにしている。</p> <p>保育課程をもとに各期間のもとで指導計画を作成し、保育実践に反映させている</p> <p>保育課程は保育理念・方針を踏まえ、各年齢の目標に基づいて養護・教育各分野での保育・教育内容を設定しており、年度末には実際の子どもの姿と照らし合わせたうえで、見直しや、成長の姿・保育士等の関わりについて職員間で共通理解を図る機会が設けられている。これらをもとに年間指導計画を策定し、月・週の計画に展開して保育を実践している。月・週の振り返りについてはクラス会議の機会に行ってはいるが、年間の定期的な振り返りについては機会を得ていないために、今後の課題であると見受けられるので、今後検討を期待したい。</p> <p>会議や朝礼などを通じて、フロア内や職員間での情報共有を図っている</p> <p>毎月の園便りでは、園全体の取組を掲載し、フロア便りでは異年齢、クラス便りでは年齢ごとの取組を保護者に発信し、保育内容の理解へとつなげている。日々の朝礼では乳児・幼児・園長・主任が参加し、子どもの体調や前日の引き継ぎ事項、保護者からの要望などを共有する場とし、職員間で連携を図っている。職員会議では、子どもの様子やカリキュラムについての振り返り、行事に向けた取組や進捗状況の報告などが行われ、職員間で共有している。</p>		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	7/7
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和り取りする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p><b>個人情報保護や、環境・援助両面での子どもの羞恥心等への配慮に努めている</b></p> <p>子どものプライバシー保護に関する取組については、入園説明会時に説明を行い、「個人情報の取り扱いについて」として、子どもの情報開示の内容を書面で記し、同意できる内容についての番号とともに署名を求めている。水遊び等で着替える際には外部から見えないよう環境面で配慮をするほか、排せつの失敗に対してもさりげない援助を心がけるなど、子どもの羞恥心や自尊心に配慮した支援に努めている。おむつ替えスペースでも視線に配慮し、柵の近くや部屋の奥を活用するなど、それぞれの状況に応じた配慮に努めている。</p> <p><b>研修での学びや日常の保育者同士の確認などから適切な対応となるよう努めている</b></p> <p>就業前後の新任者研修の中で、人権や個人を尊重するなどの学びや児童への接し方・声のかけ方などについて学んでいる。また「誉める保育」の実践では、子ども自身が主体的に自分のペースで意欲的に遊ぶ姿を保育者が見守り、声かけなどをしている様子が訪問当日にも見られた。そしてフロアの保育者同士で、個々の子どもの違いを受けとめ、寄り添い共感することなどができているかの確認と評価を日々行い、その対応状況と個々の児童の生活の様子や活動についてはできるだけ詳細に記録し、職員会議など園全体でさらに確認し合うようにしている。</p> <p><b>子どもの様子を丁寧に把握し、日常保育の中で虐待の有無に気づく体制を整えている</b></p> <p>日々の登園時の受け入れから日常保育における着替えや排せつ等の対応時など、子どもの体調を確認する時に、虐待等の有無についても確認するようにしている。また引越しや職場の変更など、家庭の状況に変化が起きた場合には、子どもの様子などにも気を配るようにしている。園では虐待対応のマニュアルを作成し、保育の中で確認するポイントをチェック項目を用意するなどして、対応をわかりやすく行えるようにしており、発見もしくは疑わしい場合の園内での情報の共有やその後の手順も整え、関係機関の連携なども適切に対応できるようにしている。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11/11
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>法人で共通のマニュアルなどを用意し、図式化などでわかりやすく使えるようにしている</p> <p>保育や運営全般にわたり法人共通のマニュアルを整備し、また必要に応じて各園個別状況に応じて再編し、保育の質の水準を法人全体で確保するようにしている。マニュアルは保育・安全及び保健衛生・保護者対応や個人情報に関するマニュアルや手順書などがあり、就職時に配付され、新任者研修で服务内容などと併せて学ぶ機会を提供している。その後は業務上必要に応じて確認するようにしている。手順書の一部では、複雑な手順や高度な対応が要求される手順などは、動作や行為の流れを図式化することで、実際の対応をわかりやすくする工夫もなされている。</p> <p>マニュアルと記録の照合や現場保育、保護者の意見などから手順書を見直すなどしている</p> <p>年度ごとにマニュアルや手順書などは年度ごとに必要に応じて見直しを行うようにしている。直近では園庭に関して、砂場管理や植栽の剪定・ゴミ処理などについて見直しをしている。また各記録、例えば自衛消防訓練に関する記録が災害時対応のマニュアルに基づく内容と整合しているか、実態に合っているかなど、マニュアルと記録を照合することで、実践が手順通りになされているかの確認も必要に応じて行っている。さらに、保護者からの意見や要望で手順に合わない場合は、保護者の理解を徹底したり、場合により内容を変更するなどの対応をしている。</p> <p>効果的かつ着実な職員の育成への配慮や、保育を実見から学ぶ各種取組がなされている</p> <p>新任者等の業務の水準を確保するため、先輩から若手への助言・指導に関して、どの分野の取組をしたか、スタンプラリー形式で履歴を残し、効率的に業務を行う仕組みがある。また情報共有のため職員間の共通理解を図る記録を作成し、新人への指導・助言が複数の職員間で行いやすくするようにもしている。「誉める保育」のさらなる理解のため、今年度新たに可視化するプロジェクトに法人全体で取り組み、この園もそれに参加するほか、職員が系列園間で行き来して保育実践等を学ぶ「互見会」への参加の頻度を増やすなど、質の向上に取り組んでいる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの状況を把握し、環境構成の工夫に取り組んでいる</p> <p>児童票は発達の記録として毎月、心身両面での育ちについて発達の指標に沿って確認をしているほか、「参考となる事項」として0~2歳児は毎月、3歳以上児は年間を4期に分けて子どもの発達を記録している。子どもの会話や室内外での活動、職員同士での子どもへの気づきの共有などで興味・関心を把握し、遊びを通して子どもの意欲や好奇心が広がるような環境を整えている。また玩具だけでなく、素材を用意することで子どもが自由に玩具や活動を選び、集中して行ったり仲間とともに遊びの幅を広げるなど、さまざまな活動が展開されている。</p> <p>遊びや生活のあらゆる場面での異年齢での関わり合いが、相互の育ちを促している</p> <p>0・1歳、2歳以上児は年齢の枠を超えて過ごす縦割り保育をもとに、子どもの自立に向けた活動と援助を行っている。室内外での活動において、年齢の違う子ども同士がともに過ごす時間の中で、遊びの共有や生活の場面でお世話をしたり、自分の気持ちを表現して助けてもらうなどの経験を積み重ね、年齢相互で育ち合えるような関わりが行われている。保育士は子ども同士のやり取りを見守りながら、思いやる年上の子を尊重したり、戸惑う年下の子に声をかけて子ども同士をつないでゆく役割に努めている。</p> <p>子ども同士のトラブルへの対応や、配慮の必要な子への適切な支援に努めている</p> <p>配慮が必要な子どもは、集団の中での個々としてとらえ、関係機関との連携を図り助言を仰ぎつつも、見守りや促しを積み重ねて子どもなりのペースを尊重した支援を行っている。子ども同士のトラブルでは、自発的な子ども同士のやり取りを尊重しながら、思いを受けとめ、双方の気持ちを代弁して、子どもたちが少しずつ関わり方を学べるよう援助している。またかみつぎや引っかきは成長の過程でもあるという認識を保護者と共有するために、保護者会で発達の特徴を説明したり、状況に応じて個人面談や送迎等の日常のやり取りで伝えるよう取り組んでいる。</p>			

2 評価項目2		標準項目	評点(〇〇〇〇)
評価			
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評			
<p><b>子どもや保護者の情報を共有する仕組みが整えられている</b></p> <p>登園時には連絡帳や口頭での会話、連絡アプリの内容を確認して一人ひとりの子どもの体調や状態を把握している。子どもの情報は乳児は「健康チェック表」に、幼児は「伝達表」に記載をして職員間での共有を図っている。乳児・幼児でのフロア内外での情報共有は、職員同士での対話を意識的に深めることで、一人ひとりの日々の情報に加えて特性や興味・発達等の把握に努めている。降園時は連絡帳や口頭でその日の保育の様子を伝え、写真も用いて活動を掲示するなど、保護者に活動の様子や意図が伝わるような情報発信に注力している。</p> <p><b>子どもの生活習慣確立に向け、一人ひとりの意欲を大切にしたりした関わりを行っている</b></p> <p>身辺自立の促しは集団で行うのではなく、個別に関わることを基本としている。日々の保護者との会話から家庭での子どもの状態を聴取し、どちらか一方で行うのではなく、家庭と園での生活を同じ流れで進めてゆけるような関わりを行っている。手洗いやうがい・歯磨きなども開始年齢を決めるのではなく、子どもの意欲や興味を示すタイミングを逃さないよう、子どもの姿を見守ってゆく姿勢を大切にしている。異年齢での生活の中で靴の脱ぎ履きや着脱のお手伝いなどを行ったり、年上の子をまねて挑戦意欲を見せるなどの姿が見られているとのことである。</p> <p><b>園内各所に、子どもの自発性を促すためのさまざまな環境の工夫が行われている</b></p> <p>個人の棚には子どもの写真と名前を貼り、手の届く位置に衣類が整理され、オムツを自分で取り出してからトイレに向かったり、昼食後には着替えを行う子どもの姿が見られている。棚の位置は保育者からも見通せる位置になるような環境の工夫も行われており、子どもの自発性を尊重しながらも、段階的な見守りに努め、関わり過ぎることで子どもの意欲を損なわないような支援を行っている。午睡は眠れなくなった気配が見られたら促しを行い、SIDS対策として0・1歳児は5分、2歳以上児は15分ごとに呼吸と状態の確認を行っている。</p>			



3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>目指す保育に向けて、子どもの自主性を尊重した関わりを大切にしている</p> <p>「やりたいことがある。やりたいことができる」を目指す保育として掲げ、異年齢保育を基本に子どもの自主性を尊重した関わりを大切にしている。保育者は子どもとの関わりの中で、子ども自身の達成感が感じられた時や挨拶の振る舞いとしてハグやハイタッチを行い、喜びを共感し合える関わりを大切にしている。園舎内は年齢に関わりなく、自由に行き来ができる環境を整え、園庭に出る時は0・1歳児室を通り抜けて出る構造となっており、大きい年齢の子どもたちが、0・1歳児と関わり合う姿が日常的に見られている。</p> <p>子どもがのびのびと表現できるさまざまな活動が行われている</p> <p>1階2階のフロア的一端にはピアノが置かれ、音楽に合わせて歌を歌ったり、リズム遊びを展開するなど、興味を抱いた子どもたちが音を耳にして自然と集まり、集団遊びなどに広がる姿も訪問当日に見られていた。これらの遊びが「フェスティバル(発表会)」での活動に展開されるなど、日々の遊びの経験を行事としての取組にもつなげている。また造形活動として季節や伝承行事に合わせた制作を行ったり、周辺の樹木の実を収穫して描画制作やスタンプ作りを行うなど、子どもの自由な表現力をさまざまな活動で高めてゆけるような工夫に努めている。</p> <p>近隣の環境を活用して季節を感じたり、子どもの好奇心を高めるさまざまな活動がある</p> <p>園庭には築山・滑り台・ログハウスや砂場が整備され、園舎近隣には雑木林が広がり、子どもの活動に応じて行き先を選択し、季節の移ろいを感じたり、自然散策や昆虫採集などの体験が年間を通して行われている。散歩に出かける時は子どもとの対話から興味を拾い上げ、目的をもって少人数で出かけた時、「こもれびポート(お店屋さんごっこ)」を計画する前には実際の店に出向き、子どもの好奇心を高めるなど、実体験を通して感じる気持ちを大切に、子どもが自発的に物事に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日々の活動の延長として、子どもの自主性を尊重した行事に取り組んでいる</p> <p>行事に対する考え方として、行事のために練習をした姿を披露する機会とはとらず、日常の積み重ねの中で、その時々が一番披露したい姿であり、日頃の活動の成果を発表する機会として位置づけている。フェスティバルでは乳児は慣れ親しんでいるダンスや手遊び、幼児は絵本を題材にしたオペレッタを子どもが主体的に選択をして、内容も子ども同士の対話を通して作り上げるなどの表現遊びを披露している。内容は事前にお便りや動画を活用して保護者に知らせ、日常の活動や練習の様子などの過程を伝えている。</p> <p>目的を意識して子どもが主体的に取り組める活動が行われている</p> <p>子どもたちが意欲的に挑み、達成感を感じることで成功体験につなげられる内容を企画している。「もりんピック(運動会)」ではソーラン節を踊りたいという5歳児の希望をもとに、鳴子(楽器)を活用して踊りながら音を出す表現活動を自信を持って挑んだ姿が見られている。また「冒険の旅」は昨年度からの継続的な取組として、園外活動の距離を徐々に延ばし、公共交通機関内でのルールやマナーでの経験の積み重ねで、社会性を学び、自発的に人と関わりながら体験を重ね、成長するきっかけとなっている。</p> <p>季節や伝承行事の象徴物を制作で楽しみ、園内随所に子どもの作品を展示している</p> <p>年間を通じて季節や伝統文化の機会には、日々の保育の中で保育者がそれぞれの案を提案した制作を、子どもとともに楽しみ、興味を抱いた子が作り上げるなどの機会が行われている。作品は園内の随所に飾られ、子どもの意欲が高められ、保護者も作品を通して日々の活動の一端が垣間見られる機会ともなっている。地域の方々が参加できる行事内容については今後の検討課題としているが、近隣の学校からの職業体験の受け入れは随時可能としているとのことである。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>異年齢の子ども同士が安定して過ごせるような環境を整えている</p> <p>園内は木製の棚や机・椅子が整備され、随所に観葉植物や子どもの作品・写真が飾られている。子どもが一日を園で過ごすことに配慮し、家庭的な雰囲気の中で子どもの安全を心がけるとともに、一人ひとりの子どもを見守り、個々の姿の共有を図って変化の把握に努めている。日常的に異年齢での生活が行われていることから、朝夕の合同保育時間帯でも子どもは戸惑うことなく過ごせる環境を整えている。またそれぞれの意思を尊重し、子どもたちが各フロアを一日の生活の中で行き来し、年齢を問わず好きな場所で過ごすこともできるようにしている。</p> <p>職員間での伝達の仕組みを整え、子どもの情報を共有している</p> <p>乳児(0・1歳児)の生活や活動の内容は連絡帳で知らせ、幼児(2～5歳児)も週1～2回は個別ノートに様子を記載して、一人ひとりの様子を保護者に伝えている。子どもが取り組んでいる活動や、仲間との関係性などは可能なかぎり口頭で伝えるようにしているほかに、写真とコメントを記載した活動内容や子どもの表情を伝える工夫もなされ、保護者との信頼関係を深めている。各フロアリーダーを今年度から設け、フロア間での情報共有や確認事項等を周知伝達する仕組みが整えられている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>旬の食材を活用した献立の工夫が行われている</p> <p>献立は法人統一となっており、胚芽米を使用して魚や肉・野菜等がバランス考案され、旬の食材を活用してだしを効かせた薄味で食事が提供されている。毎月19日は「食育の日」として旬の食材を活用した献立を用意しているほかに、デザートが毎日提供され、子どものお楽しみになっている。午後のおやつは米・麺・パン類の糖分、塩分に配慮を行って提供され、また伝統行事に合わせておやつを提供したり、毎月末には誕生会メニューが用意されるなど、さまざまな取組が行われている。</p> <p>子どもが自発的に食べたい意欲を持てるような援助や環境の工夫がなされている</p> <p>日々の食事時間は11時から13時までのおおまかな時間を設定し、お腹が空いた子どもが欲求を自ら感じ取り、食事のテーブルについている。発達に応じた机・椅子の高さのバランスについては課題としているが、自発的に選択をして好きな場所で食事を摂る意欲も尊重している。配膳は名前を呼ばれた子から順番に行い、保育者とのやり取りの中で自分が食べたい量を保育者に伝えているほかに、その中で苦手なものでも少しだけでも食べられるよう、会話を通して意欲を促すなど、完食した時や食べられなかったものを食べられた時の充実感を大切にしている。</p> <p>アレルギーや離乳食提供の仕組みや食への興味関心を広げる活動が設けられている</p> <p>アレルギーのおそれのある子どもは、医師の診断に基づき、除去・代替食の提供を行っている。提供時はトレーを専用とし、複数名で確認を行うなど、安全な食事の提供ができるよう仕組みを設けている。離乳食は未食材を家庭で試してから、園で提供をする仕組みとなり、いずれも月2回の移行開始日を設け、対応を図っている。食育への興味関心として野菜の栽培を行い、子どもとの対話を通して苗の種類を決め子どもと買い物に出かけるなど、苗植えや水やり・収穫を通して野菜の変化を知り、生長の過程を経験している。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p><b>園生活の中で子ども自ら健康や安全面を意識する機会を提供している</b>                      保育活動時に薄着の励行を促したり、食べ物の栄養素に関心を持つように栄養士が献立メニューを栄養素別に展示するほか、昼食後の歯磨きの習慣について、看護師が定期的に指導をするなど、生活の中で子どもが毎日健康に過ごすことを意識できるようにしている。また事故やケガなどが発生した場合は、事故報告書やヒヤリハットの報告を作成し、同時に子どもたちにも危ない出来事や危ない場所を知らせて、子どもが注意するよう喚起し、できるだけ大きな事故にならないように配慮している。</p> <p><b>個別配慮が必要な場合を含め、子どもの健康管理に向けた仕組みが整えられている</b>                      入園時にアレルギー・熱性けいれん等を含む個別の医療的な配慮が必要な疾病・体質や障害等の有無を確認し、具体的なケースが生じた場合は、家庭と連携を図るとともに、必要に応じて市の巡回指導を活用するなどして対応している。また保育中に発生した首から上の傷病については、緊急対応を図るための医療機関をあらかじめ設定するなど、確実な対応が期されている。定期的な内科健診・歯科検診を行って子ども一人ひとりの健康状態の推移を確認し、結果を保護者にも報告して、肥満や虫歯など家庭と連携した保健指導が必要なケースに備えている。</p> <p><b>さまざまな場面で子どもの健康状態を確認し、家庭での健康支援につなげている</b>                      入園直前には健康状態を把握するための調査を行い、入園後には健康状態と食事や睡眠について、かかりつけの医院や病気の既往歴など目的に応じて書面を用意し保護者から情報提供をもらい、日常保育での管理や病気発生時の病院への搬送など、適切な対応ができるようにしている。また、日々の健康確認や午睡時のうつぶせ寝・呼吸などの確認によるSIDS対策などの仕組みを整えている。看護師は日々の健康観察の記録などを通して一人ひとりの心身の状態を毎月把握し、保護者へ情報提供し、家庭での健康支援につなげている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>利用時間の変更や行事への参加は、保護者の意向にできる範囲で対応している</p> <p>日常の保育時間や延長保育利用については、職場の変更や保護者の事情を勘案し、柔軟に対応している。また行事等では事前にアンケートを取り、開催日などの調整で利用時間と同様の対応に努めている。妊娠や育児休業取得など、保護者の事情に変化が生じた場合は要望などを聴取し、子どもの情緒の変化などを把握した支援に配慮している。事務室が玄関に面する園舎の構造を活かし、園長がお迎えの保護者に窓越しに積極的に声をかけ、時にそばまで出向いて立ち話をするなど、気軽に声をかけ合える雰囲気づくりに取り組んでいる。</p> <p>保育面談や保護者会の交流を通して職員と保護者・保護者同士の関係づくりをしている</p> <p>保護者同士の交流会を、年度当初に0・1歳児と2歳以上児のフロアごとの交流の場を設け、会の初めに互いが打ち解けるようなゲーム等を行い、親しく交わり、行事等で協力してもらえる状況につながっている。また職員とのつながりでは、園の方針として保育を担任制でなく各フロアの複数の職員が保育する体制の中で、保護者からのニーズには内容や状況に合わせて対応することを、ホームページや年度当初の説明会などを通じて表明している。利用者調査ではその点に関してさらなる配慮を望む声も散見され、さらに相互理解を深めることも期待される。</p> <p>保育参加や相談対応など、さまざまな機会を活かして家庭での養育支援を行っている</p> <p>毎月の保健便り・食育便りなどで養育につながる支援を提供している。また保育に参加する機会を土曜日に提供したり、個人面談の場で、子どもの育ちの目標や課題について共有するようにしている。フェスティバルでは日常の保育活動を映像で流すなどして、生活の様子を伝えて理解につなげている。さらに育児講座の開催時には保護者自身の歯の健康指導も採り入れるなどしている。日常においても栄養相談・育児相談・健康相談は園長・主任・フロア担当が随時受け付けることを、さまざまな機会でも説明している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域や市外のさまざまな資源を活用し、子どもたちの生活の幅を広げている</p> <p>開園間もないこともあり、園内での活動に重点を置きつつも、園外活動では遠足に出かけ、川遊びの体験やトリックアートの美術館での体験学習をする機会を持つようにしたり、地元の図書館や市民プールの利用など、子どもたちが社会や地域に親しみを持ち、関われる機会を持つようにしている。また子どもたちが周辺への散歩や買い物などに出かけた際も、友達や保育士と一緒に地域の畑や自然、駅を往来する電車などを見たり、店舗などの大人の方とふれ合ったりしている。公園など新たな散歩先の開拓や遠足の企画など、園外保育の充実も検討している。</p> <p>園行事などを通して、職員以外のさまざまな人々との交流の機会が持てるようにしている</p> <p>夕涼み会・餅つき会・もりんピックなどの行事で、保護者や兄弟姉妹・祖父母、地域の未就園児などと園児との交流機会が設けられている。また市民プールの利用や散歩に出かけた公園などでは地域の方と挨拶など交わす機会がある。実習生も毎年来園しており、一緒に遊んだりふれ合うなどの関わりが持たれている。今後は身近にある中学校の生徒との交流なども持ちたいとの考えもあり、それを含め交流可能な地域の資源について情報収集に取り組み、子どもたちの体験をさらに豊かにしてゆきたい意向である。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル①	フロア会議に各職員が直近の課題を持ち寄り、現場の問題解決につなげている	
内容①	原則週1回行うフロア会議では、職員の連携や「誉める保育」の実践、保育環境、食事の援助やおもちゃの提供など、それぞれの職員が直近の課題を持ち寄り、話し合っており、職員の配置転換や環境構成の改善につなげたうえで、その後に成果検証も行うなど、折々の現場の実状に即した問題解決の場となっている。また配慮が必要な子どもへの個別支援の検討、法人として大切にしている「子どもに『寄り添う』こと」と「引率」との違いについて、現状分析と職員の意見の集約を行い、望ましい対応を再確認する取組など、省察や研鑽の機会としても活かしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	園の保育や目指す子どもの育ちを、保護者へ具体的に発信する取組に注力している	
内容②	「フェスティバル」では日頃子どもたちが取り組むオベレッタを中心に音楽や劇遊びを楽しみ、保護者にもわが子の成長や日々の生活の一端を知る機会となっている。また園便りと「こもれびの森だより」、各クラスの便りでは、写真を活用して園やそれぞれのクラスの子どもたちの暮らしぶり、毎月の活動・行事などを伝え、クラス便りには手書きの温かみや担当者の個性も活かされている。その他、各所に展示する子どもたちの作品や写真、年2回の保護者会など、園の保育の方針や目指す子どもの育ちを保護者へ具体的に発信し、理解を得る取組に注力している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル③	保護者の協力のもと、保育開始前後の丁寧な援助を通して園生活の始まりを支援している	
内容③	入園前の個別面談による一人ひとりの育児状況の把握から、利用開始直後の不安を和らげ、情緒の安定が確保されるようにしている。必要に応じ、子どもが愛着を持つ衣類・タオル等の愛玩品を持たせてもらい、心のよりどころとなるようにしたり、通園開始時期には子どもの様子や保護者の勤務の状況などに応じ、個別に保育時間を調整するなどの配慮をしている。お迎えの時間も子どもの様子を見ながら判断し、適時の依頼を行うために保護者への確実な連絡ができるよう、その旨理解を得るなど、子どもの心の安定とスムーズな園生活への移行を支援している。	



No.		特に良いと思う点
1	タイトル	子ども一人ひとりの主体性や自発性を促し、自ら遊びを見つけ、意欲的に取り組める環境を整えている
	内容	子どもが自発的に行動し、遊びに集中して取り組めるような環境を設定し、子どもとの対話から遊びが発展してゆけるような関わりを行っている。玩具や教材は適宜変化をつけており、子どもが集中しているか、満足感を抱いているかなどの子どもの姿を職員間で共有し、子どもが自発的・主体的に取り組んでゆけるような環境構成を行っている。園庭には大型遊具や築山などの身体を存分に動かせる遊具が整えられ、異年齢の子ども同士が遊びの模倣や憧れを抱いて刺激となるなど、遊びを通して学び合い、豊かな人間関係が形成されている。
2	タイトル	日常の積み重ねの成果が、子どもたちの達成感や自信へとつなげられる取組がさまざまに行われている
	内容	リズムや造形などの表現活動を通して、子どもが作る喜びや身体で表現する楽しさを身につけている。リズム遊びでは保育者が弾くピアノが開始されると、徐々に子どもたちが集まり、歌を口ずさんだり音楽に合わせて劇遊びを行うなどの姿が見られている。日頃の活動から「フェスティバル」や「もりんピック」などの行事へと展開がなされ、人前で表現をすることで緊張感を感じ、一つの目的を達成するために友だちと協力して行い、仲間意識の芽生えなどのさまざまな感情を体験し、大勢の人に見てもらい喜びがそれぞれの自信へとつなげられている。
3	タイトル	法人系列園の会議や報告会からの情報を取り込み、保育の質や保育士の資質を上げてゆくためのさまざまな取組が行われている
	内容	所属する法人は関東地区に多数の認可保育園の系列がある。その特色を活かし、保育に関しては、法人内で保育現場の事例や重要事項などを情報共有するICTの仕組みを整え、自園の活動で参考する仕組みがある。また園長・主任・看護師・栄養士の各会議があり、各園の状況や苦情・ケガ事例、主任保育士会では現場の様子やヒヤリハット事例が情報交換される。さらに今年度から系列園間の保育分野の「強化巡回」が始まるなど、さまざまな取組を通して保育の質や現場の資質を恒常的に底上げするための、内外の多様な視点が設けられている。
No.		さらなる改善が望まれる点
1	タイトル	0～2歳児の個別的な指導計画の策定と、年間指導計画の適宜の振り返りを行い、発達援助の充実につなげることを期待したい
	内容	計画は保育課程に基づき理念・方針を踏まえて策定されている。年度当初に年間指導計画が策定され、月・週・日へ展開されている。子どもの自発性を尊重するために、計画策定時には一人ひとりの子どもの姿を共有し、子どもの意欲や興味をもとに予想される子どもの姿を反映した計画が策定されている。各計画は振り返りが反映され、次の計画へと展開しているが、年間の期ごとの振り返りの記述が見当たらない点が見受けられた。また0～2歳児の個別的な計画においても、発達差への配慮という点で必要であると思われるため、検討を期待したい。
2	タイトル	施設機能の還元や子どもたちの地域活動の充実など、地域に対する保育所としてのアプローチの充実や多様化も課題と考えている
	内容	開設間もない時期であり、職員体制も考慮しながら、まずは現場保育の充実を優先している。地域への支援については、こうした事情から見学者として来園する市内の未就園世帯からの育児相談に応じる程度にとどめており、地域の子育ての資源としての役割の認識のもとで、さらなる充実を課題としている。また子どもと地域との関わりについても、さらなる取組の余地を認識し、子どもたちの体験・視点や生活の幅を広げるための機会づくりに取り組みたいと考えている。周辺の小中学校をはじめ、さまざまな資源を活用した交流の充実が期待される。
3	タイトル	個々の職員の育成目標や対策・達成状況等を客観視し、継続的に管理するための個別育成計画の仕組みの検討が期待される
	内容	職員の質の向上を図ることを目的に、職員が年に2回作成する個別シートに基づいて園長が面談を行い、個々の職員の意向や育成希望を把握して必要とする資質向上支援に取り組んでいる。個々の職員の育成内容と計画が客観視できる個別育成計画の作成にまでは至っておらず、現在、法人が総合的な人材マネジメント体制として、職員の育成・評価・報酬が連動したキャリアパス制度の導入を検討している。新制度の導入を図ることで、組織運動の原動力となる職員のやる気や資質のさらなる向上が図られ、組織力の強化に結びつくことを期待したい。

